

株式会社横浜アートニクス

2021 年度環境経営レポート

(対象期間 2021 年6月1日～ 2022 年5月31日)



発行日：2022年6月6日

目 次

項 目	ページ
<input type="checkbox"/> 環境経営方針	3
<input type="checkbox"/> 組織の概要	4
<input type="checkbox"/> 認証・登録の対象組織・活動	4
<input type="checkbox"/> 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
<input type="checkbox"/> 主な環境負荷の実績	6
<input type="checkbox"/> 環境経営目標及びその実績	6
<input type="checkbox"/> 環境経営計画の取組結果とその評価	7 ~ 8
<input type="checkbox"/> 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	9
<input type="checkbox"/> 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	10
<input type="checkbox"/> 外部からの環境上の苦情・要請等	10
<input type="checkbox"/> 緊急事態対応の試行・訓練	10
<input type="checkbox"/> 代表者による全体の評価と見直し・指示	11
<input type="checkbox"/> 取組紹介欄	11

環境経営方針

【基本理念】

当社は、電気・電子機器のソフト・ハードウェア開発において、地域ならびに環境への関連性を考慮し恒久的に環境に配慮した開発を行い社会に貢献します。

【行動方針】

1. 法令規制の理解に努め、当社に適用する環境関連法規を遵守します。
2. 以下の項目を重点目標とし、環境負荷の低減に継続的に取り組みます。
 - ①電力の使用量削減による二酸化炭素排出削減に努めます。
 - ②紙使用量の削減、廃棄物の分別・リサイクルにより廃棄物排出削減に努めます。
 - ③節水に努めます。
 - ④グリーン製品の積極的な購入に努めます。
 - ⑤環境へのプラス影響を促進するサービスの提供に、積極的に努めます。
3. 環境教育や社内広報活動により、環境マネジメント・システムの維持・向上に努めます。
4. 環境活動レポートを社内外へ公表します。
5. 環境方針に基づいた目標・活動計画について全社員への周知徹底に努め、社内のみにとどまらず、社会人としての環境保全意識の向上を図ります。

制定日：2008年10月1日

改定日：2021年6月4日

代表取締役社長 久家 雅英

□組織の概要

更新日：2022年6月3日

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 横浜アートニクス
代表取締役社長 久家 雅英
- (2) 所在地
本 社 福岡市早良区百道浜2丁目1番22号 福岡SRPセンタービル606-B
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 技術部マネージャー 立部 貴己男 TEL:092-846-0611
担当者 木實 幸代 TEL:092-846-0611

- (4) 事業内容
電気・電子機器の開発設計
・回路設計 ・FPGA(Fixed Programmable gate array)設計
・実装設計 ・プリント配線設計

- (5) 事業の規模
売上高 212 百万円

	本 社	派遣先企業(※1)	合 計
従業員 名	10 名	18 名	28 名
延べ床面積 m ²	131.07 m ²	m ²	

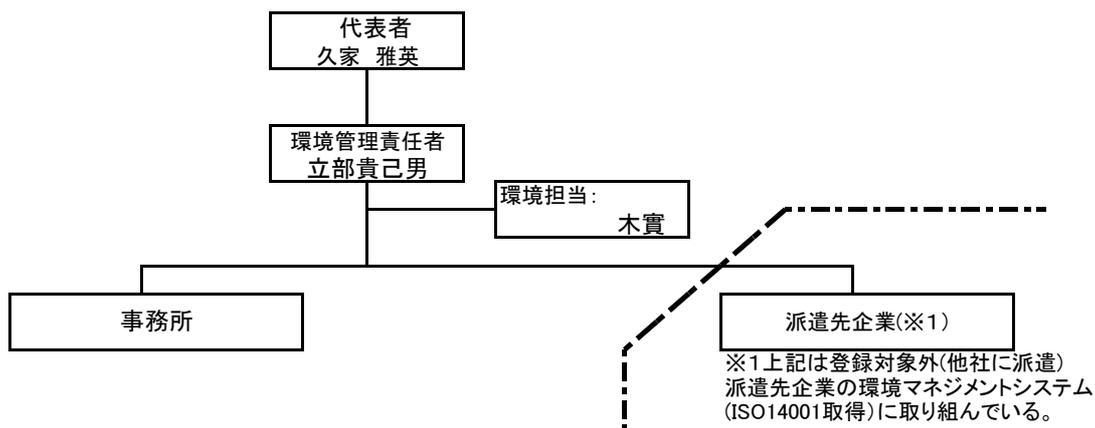
※1 18名は一般派遣従業員等として社外勤務の為、実質エコアクション対象従業員は10名である。

- (6) 事業年度 6 月 1 日 ~ 5 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社 横浜アートニクス
対象事業所： 本 社
活動： 電気・電子機器の開発設計

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する最高責任者 環境経営システムの実施に必要な資源(資金、人材等)を用意する 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境担当	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
活動参加者 事務所内従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動の推進 環境管理責任者の指示への対応

□主な環境負荷の実績

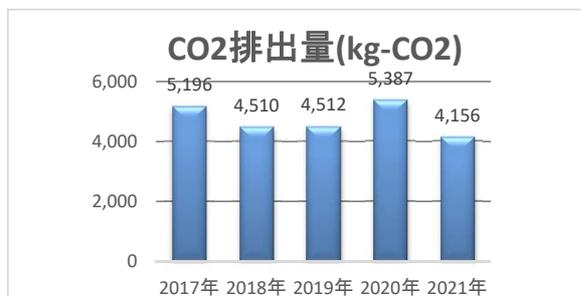
項目	単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	5,196	4,510	4,512	5,387	4,156
一般廃棄物(ビル管理共通処理)	kg	171.0	162.5	122.1	136.1	67.7
コピー用紙使用量	kg	10.46	9.06	7.74	7.76	8.03

※2017年～2020年二酸化炭素排出係数 0.463 kg-CO₂/kWh (九州電力:2017年度調整後排出係数)

※2021年二酸化炭素排出係数 0.371 kg-CO₂/kWh (九州電力:2020年度調整後排出係数)

※水使用量:当社は入居ビル管理の為、使用量の数値的な把握が出来ません。

※化学物質:当社は化学物質の使用がありません。



□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値	2021年		評価	2022年	2023年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	4,316	4,273	4,156	○	4,230	4,187
	基準年度比	2020年	99%	96%		98%	97%
一般廃棄物の削減	kg	171.0	133.4	67.7	○	130	128
	基準年度比	2017年	78%	40%		76%	75%
	kg	67.7	※2022年度以降は基準値を2021年実績で行い2022年～2024年の目標数値を変更する			67.0	66.3
基準年度比	2021年				99%	98%	
コピー用紙の削減	kg	10.46	8.16	8.03	○	7.95	7.85
	基準年度比	2017年	78%	77%		76%	75%
グリーン購入の推進	事務用品	—	—	39	×	—	—
	グリーン用品	—	—	20		—	—
	対応率(%)	—	51.5%	51.3%		51.5%	51.5%

※ コピー用紙(A4サイズ)は、坪量60g/m²(3.7422g/枚)にて算出した。

※ 水使用量に関しては入居ビル管理の為、日常的な節水のみを目標とし、基準値、目標値等は設定しない。

※ 化学物質は取り扱っていない為、基準値、目標値等は設定しない。

※ 製品への環境配慮については、受託業務開発仕様への進言が主となり目標値は設定しない。

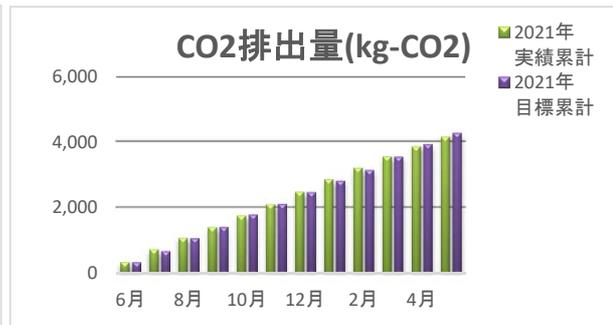
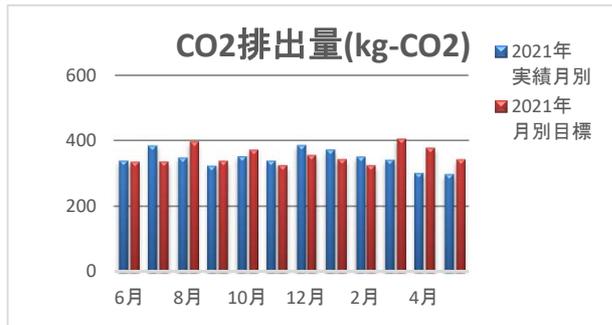
※ 一般廃棄物の削減の2022年以降の基準値を2021年に変更する。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

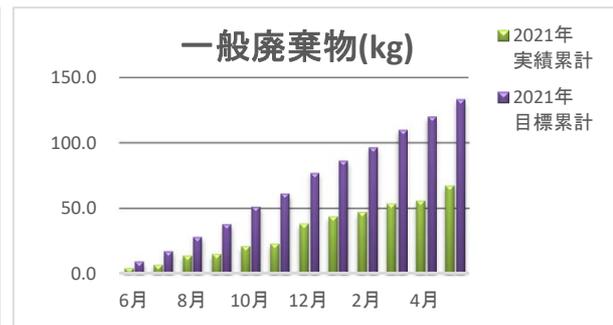
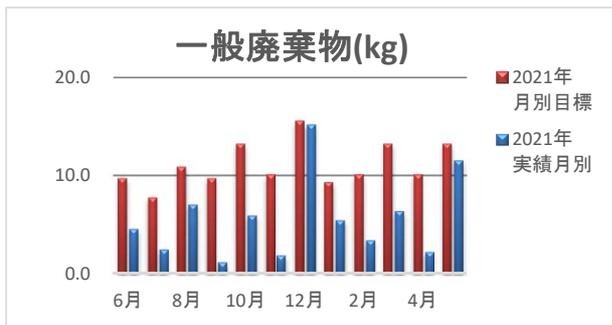
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。	数値目標変更なし
・空調温度の適正化(冷房26℃~28℃ 暖房22℃~20℃)	◎	基準年を2020年に変更し累計目標を達成する事は出来た。	継続
・外気温が比較的低い場合、窓の開閉にて温度調整を行う。	○	ただ、冷暖房使用時期は使用量が増える事もあり節電がかなり厳しい状況であるが、5月中旬に20年以上使用していた冷蔵庫の買い替えを行った事で、来年多少なり電気削減に期待したい。次年度数値目標変更なし。	継続
・クールビズ・ウォームビズでの服装による温度調節	△		継続
・OA機器の省エネモード設定	○		継続
・朝8時30分まで消灯(但し1ブロックのみ7時15分より照明)、昼休み消灯	○		継続
・電気製品の電源OFFの徹底	○		継続
・未使用設備の節電(消灯等)	○		継続



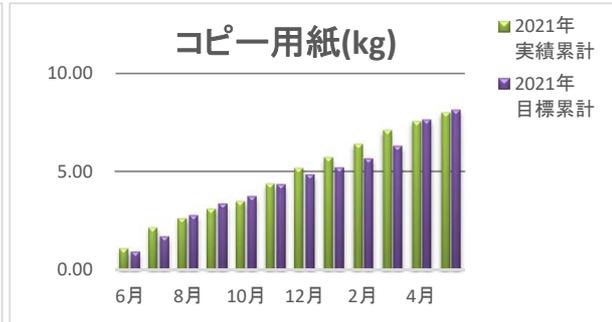
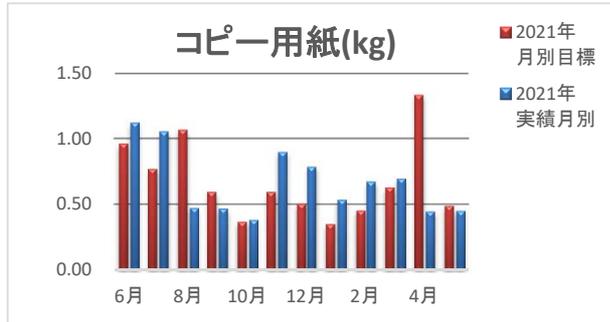
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年 月別目標	337	338	399	340	374	326	358	345	326	407	379	344
2021年 目標累計	337	675	1,074	1,413	1,787	2,113	2,471	2,816	3,142	3,549	3,929	4,273
2021年 実績月別	341	387	350	325	354	340	388	374	352	343	303	299
2021年 実績累計	341	727	1,077	1,402	1,756	2,096	2,483	2,857	3,210	3,553	3,857	4,156

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。	数値目標変更あり
・燃えるゴミ=資源ゴミ(管理ビル共通処理方法変更)の為、分別の徹底を行う。	◎	配達される際の段ボールゴミを増やさない様にすれば更にゴミ削減に繋がると思うので検討したいと思う。	継続
・回収専用ボックスを設置し、用紙裏面の有効活用を推進する。	○	基準値の2017年と現在では状況も違う事から、次年度の基準値を2021年に変更しゴミ削減に取り組みたいと思う。	継続
・古紙のリサイクル化	○		継続



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年 月別目標	9.8	7.8	10.9	9.8	13.3	10.1	15.6	9.4	10.1	13.3	10.1	13.3
2021年 目標累計	9.8	17.6	28.5	38.2	51.5	61.6	77.2	86.6	96.7	110.0	120.1	133.4
2021年 実績月別	4.6	2.5	7.1	1.2	6.0	1.9	15.2	5.5	3.5	6.4	2.3	11.6
2021年 実績累計	4.6	7.1	14.2	15.4	21.4	23.3	38.5	44.0	47.5	53.9	56.1	67.7

コピー用紙の削減	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。	数値目標変更なし
・プロジェクター使用による用紙使用量の削減	○	目標未達成の月は契約書類作成や助成金書類作成で印刷物が多くなる傾向にあるが、それ以外では特に無駄な印刷等なかったと思う。但し、昨年より少し増加している事もありこれ以上の削減は厳しい状況。次年度数値目標変更なし。	継続
・分割印刷推進による用紙使用量の削減	○		継続
・裏紙再利用	◎		継続
・用紙(A4コピー用紙→坪量60g/m ² (3.7422g))	○		継続



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年 月別目標	0.97	0.77	1.07	0.60	0.37	0.60	0.51	0.35	0.46	0.63	1.34	0.49
2021年 目標累計	0.97	1.74	2.81	3.41	3.78	4.38	4.89	5.24	5.70	6.33	7.67	8.16
2021年 実績月別	1.13	1.06	0.48	0.47	0.39	0.90	0.79	0.54	0.68	0.70	0.45	0.45
2021年 実績累計	1.13	2.19	2.66	3.13	3.52	4.42	5.21	5.75	6.43	7.13	7.57	8.03

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標	×	30品目中20品目のグリーン商品を購入した。	数値目標変更なし
・有害性の少ない資材の購入	○	購入したい事務用品がある場合、必ずグリーン商品があるか確認を行い優先して購入した。次年度以降も継続してグリーン商品購入に努める。	継続
・事務用品グリーン購入対応率向上	○		継続

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標は行わない	—	日常的に節水に取り組んだ。	数値目標は行わない
・事務所内節水ポスター掲示	○		継続
・日常的に節水を心掛ける	○		継続

製品への環境配慮	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標は行わない	—	受託業務開発使用への進言を主に環境を配慮した設計に取り組んだ。	数値目標は行わない
・開発仕様への参画	○		継続
・低消費電力を目的とした装置設計	○		継続
・有害物質を含まない装置設計	○		継続

□次年度の環境経営目標及び環境経営計画

2022 年度環境経営目標・計画

方針	目 標	活動項目
二酸化炭素排出量削減	電力による二酸化炭素削減	<ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の適正化(冷房26℃~28℃ 暖房22℃~20℃) ・外気温が比較的低い場合、窓の開閉にて温度調整を行う。 ・クールビズ・ウォームビズでの服装による温度調節 ・OA機器の省エネモード設定 ・朝8時30分まで消灯(但し1ブロックのみ7時15分より照明)、昼休み消灯 ・電気製品の電源OFFの徹底 ・未使用設備の節電(消灯等)
	基準年度実績 11,634 kWh	
	2020 年 4,316 kg-CO2	
	使用する二酸化炭素排出係数: 0.371 kg-CO2/kWh	
	2022 年度目標 4,230 kg-CO2	
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・燃えるゴミ=資源ゴミ(管理ビル共通処理方法変更)の為、分別の徹底を行う。 ・回収専用ボックスを設置し、用紙裏面の有効活用を推進する。 ・古紙のリサイクル化
	基準年度実績 2021 年 67.7 kg	
	2022 年度目標 67.0 kg	
	2023 年度目標 66.3 98%	
	2024 年度目標 65.7 97%	
グリーン購入	コピー用紙の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター使用による用紙使用量の削減 ・分割印刷推進による用紙使用量の削減 ・裏紙再利用 ・用紙(A4コピー用紙→坪量60g/m²(3.7422g))
	基準年度実績 2017 年 10.46 kg	
	2022 年度目標 7.95 kg	
	2023 年度目標 7.85 75%	
	2024 年度目標 7.85 75%	
製品への環境配慮	グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・有害性の少ない資材の購入 ・事務用品グリーン購入対応率向上
	事務用品のグリーン購入比率向上	
課題を解決しチャンスを活かす取組	2022 年度目標 51.5%	
	2023 年度目標 51.5%	
水道水の削減	2024 年度目標 51.5%	
	製品への環境配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・開発仕様への参画 ・低消費電力を目的とした装置設計 ・有害物質を含まない装置設計
年間活動計画	課題を解決しチャンスを活かす取組	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革 有休取得促進, 長時間労働の解消 テレワークの実施 インターンシップ
	水道水の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所内節水ポスター掲示 ・日常的に節水を心掛ける
年間活動計画	環境教育 一般教育	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針・目標・活動計画の周知 ・環境目標・環境活動進捗状況確認・評価 ・火災対応訓練
	緊急事態対応訓練 生物多様性への取組 環境関連法規等の遵守評価 代表者による全体の評価と見直し 環境経営レポート 審査申し込み	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済切手や書き損じはがきの収集 ・作成と地域事務局への送付

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	当社の対応	遵守状
廃棄物処理法	一般廃棄物、蛍光灯ランプ、一次電池	当ビル指示に従って分別	○
資源有効利用促進法	ディスプレイ・パソコン・複合機等	期間中の廃棄OA機器なし	○
小型家電リサイクル法	固定電話・電卓・ACアダプター・ケーブル等	期間中の廃棄小型家電なし	○
家電リサイクル法	冷蔵庫	家電リサイクル法に基づき適切に行った。	○
消防法	管理ビルによる総合防災訓練	総合防災訓練(2021/10月参加)	○
福岡市廃棄物減量及び適正処理等に関する条例	一般廃棄物、蛍光灯ランプ、一次電池	当ビル指示に従って分別	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等
 ・特になし

□緊急事態対応の試行・訓練

作成日：2021年10月25日

緊急事態の想定： 天神付近を震源とした震度6弱程度の地震発生、その後しばらくして当ビル高層棟7階湯沸室付近で出火	
■実施日： 2021年10月12日(月)～10月22日(金)	■実施場所： 当ビル
■参加者： 木實	
■実施内容： <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 毎年秋に開催しています秋の防火・防災訓練を下記の日程で実施しました。 コロナ感染拡大防止を考慮し、総合避難・集合訓練を行わず下記の訓練計画にて実行されました。 ①消防設備設置場所確認→期間中に行う。 ・入居階の消防設備設置場所を確認し、用紙に記入してSRP事務所に提出を行う。 ②避難経路の確認 ・1階から6階まで複数ある避難経路(高層棟及び低層棟非常階段)を確認する。 ③模擬消防署通報訓練→10/12,10/14,10/15(各14:00～115:00) ・模擬消防署(1階防災センター)に火災又は緊急通報を行う。	
■評価：	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
今年もコロナの影響もあり毎年行われていた当ビル主催の防災訓練が行われなかった為、 個々で避難経路の確認しました。 また消防設備置場所を指定された用紙に記入し、SRP事務所に提出すると同時に、事務所でも掲示し各自確認する様に指示しました。	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2022年6月3日

【評価】

今年度は二酸化炭素排出量、一般廃棄物、コピー用紙使用量について削減目標（環境目標）を達成することができた。
二酸化炭素排出量やコピー用紙使用量の目標達成は年々難しくなりつつあるが、社員全員が工夫して削減に取り組んでいることは評価したい。
一般廃棄物については基準年である2017年に対し、新型コロナウイルス感染防止対策を施した現在の状況では大幅に差異が発生しているため、基準年や目標値について次年度に向けての見直しを指示した。
生物多様性保全への取り組みについては継続して使用済切手の収集を行ってきたが、今年度は支援企業の規定量に到達することが出来ず提供を断念した。次年度に向け引き続きこれらの活動を継続し提供実現を目指す。
今後も新型コロナウイルス感染防止に努めるとともに、社員一丸となって環境目標達成に取り組んでいく。

【見直し】

・一般廃棄物は基準値を2021年に変更し環境数値目標を変更する。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり（実績を踏まえて見直す）
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

□取組紹介欄

生物多様性保全に向けた取り組みを身近なところからおこなってまいります。
その一歩として使用済切手や書き損じハガキ等の収集を実施し、市民団体のタンザニアポレポクラブに送ることで、世界遺産にも登録されているキリマンジャロ山（東アフリカ・タンザニア）での植林活動を支援していきたいと思っております。
また、特定非営利活動法人難民支援協会への寄付を行っています。



(2021年度収集分)